

科目名	健康生活看護学(精神概論)2			ナンバリング	PEN131	授業形態	講義
対象学年	2年	開講時期	前期前半	科目分類	必修	単位数	1単位
代表教員	茂木泰子	担当教員	鈴木祐子				

授業の概要	精神の健康や病理について理解するとともに、精神に健康課題を抱える人と家族の特徴を理解し、こころの健康の保持増進および回復を援助するために必要な精神看護の役割と機能を学修する。精神障がい者の特性、患者と看護師との関係、精神障がい者のセルフケアの援助について理解する。また、日常生活行動やプログラム参加への支援など精神科におけるケアの方法、薬物療法の考え方、援助方法の基本、精神療法や社会療法など、治療の概要とケアについて学修する。						
到達目標	別紙参照						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	あらかじめ教科書を熟読しておくこと。 講義で使用するスライド資料は、manab@IMUからPDFファイルとしてダウンロードできる。 予習(資料の閲覧)と復習を必ず行うこと。 予習と復習それぞれおおよそ90分の学習時間を確保すること。						
ディプロマポリシーとの 関連	【看護学部看護学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 広い視野と豊かな教養に基づき、看護の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。					
	○	2. EBN(Evidence Based Nursing: 根拠に基づいた看護)に基づき、自律的に看護を実践することができる。					
		3. 生命の尊厳と人権を尊重する姿勢を身につけ、多職種と連携・協働することができる。					
	○	4. 地域の健康課題に関するニーズをとらえ、災害時の援助活動も含め、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。					
	○	5. 看護専門職として科学と看護の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学修ができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
別紙参照	別紙参照

成績評価観点	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)	○	○					100%
小テスト・授業内レポート	○		○	○	○		
宿題・授業外レポート			○	○			
授業態度・授業への参加			○	○	○		加点はせず、減点する

課題、評価のフィードバック	1. 授業の中で実施する課題演習に関する疑問や感想などについては次回の授業でコメントする。 2. 期末試験の評価は一定期間内に開示する
---------------	--

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	現代社会とこころの問題	現代社会とこころの問題	
	第2回	関係のなかの人間①	自己理解、他者理解について人間関係論の観点	
	第3回	関係のなかの人間②	家族看護	
	第4回	関係のなかの人間③	家族と集団	
	第5回	ストレスマネジメント	ストレスマネジメント	
	第6回	精神障がいを持つ人への関わり	患者と看護師の関係、セルフケア援助及び精神科における治療の概要とその看護	
	第7回	①精神医療の歴史と看護 ②精神保健医療福祉と法律	1.精神医療の歴史と看護および現代社会の精神医療問題 2.精神保健医療福祉の法律と患者の処遇の変化	
	第8回	1. まとめ 2. テスト	1. 本講義のまとめ 2. テスト	
	第9回			
	第10回			
	第11回			
	第12回			
	第13回			
	第14回			
	第15回			
		試験		
授業の進め方	基本的に講義と質疑応答とする。授業内容に関連する数回のグループワークを実施する。			
授業外学習の指示	mana@にアップされた資料などを随時確認する。また、次回の講義に対応する教科書の該当箇所を読み、概要を理解しておく。 講義で学修した内容は講義後には必ず復習する。  (授業外学習時間: 毎週 180 分)			

教科書	ナーシング・グラフィカ 情緒発達と精神看護の基本 精神看護学① 第4版.メディカ出版,2017. ナーシング・グラフィカ 精神障害と看護の実践 精神看護学② 第4版.メディカ出版,2017.
参考書	講義によって紹介することがある。
参考URLなど	なし。
その他	講義にはタブレットPCとiPadを必ず持参すること